

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年 1月10日 9時30分～12時50分

出席委員：後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年中）	刑事部	
3	主要事件の検挙		
4	交通事故発生状況（平成30年中）	交通部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（8件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	愛知県監査委員事務局による随時監査の受監結果		監 査 官
3 報告	執筆料報道に関する説明	警務部	警 務 課 長
4 報告	審査請求に対する国家公安委員会の裁決		住 民 サ ー ビ ス 課 長
5 決裁	苦情の調査結果（2件）		
6 報告	監察案件		首 席 監 察 官
7 決定	聴聞等の実施結果・決定 56件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

佐伯委員長が欠席のため、後藤委員が代行を務め議事を進行した。

1 全体審議

(1) 地域部

初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、初詣に伴う雑踏警備の実施結果について、

「平成30年12月31日（月）から1月3日（木）までの4日間、熱田神宮等の神社等において雑踏警備を実施した結果、雑踏事故等の発生はなく終了した」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成30年中）

刑事部長から、平成30年中の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年との比較）について、

「
刑法犯の認知件数は55,087件で、10,424件減少した
刑法犯の検挙件数は18,690件で、1,920件減少した
刑法犯の検挙率は33.9パーセントで、2.4ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は13,624人で、378人減少した
重要窃盗犯の認知件数は5,889人で、2,412件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は2,704件で、1,211件減少した
重要窃盗犯の検挙率は45.9パーセントで、1.3ポイント下降した
重要窃盗犯の検挙人員は510人で、78人減少した

なお、侵入盗については11年連続全国ワースト1位を脱却し、ワースト2位になる見込みである」

旨の報告があった。

委員から、

「各種取組が実を結び大きな成果につながり良かった」

「依然として住宅対象侵入盗はワースト1位であることから、引き続きこの勢いで更なる減少に努めていただきたい」

旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、

- 豊川市豊が丘町地内における女性被害殺人事件の検挙概要
- 名古屋市中村区内におけるすり被疑者の検挙概要

について報告があった。

委員から、すり被疑者の検挙について、

「難しい捜査にもかかわらず、年始早々見事な検挙で頼もしい」旨の発言があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況（平成30年中）

交通部長から、平成30年中の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、平成30年中189人で前年に比べ11人減少し、68年ぶりの100人台となった。

交通死亡事故の主な特徴としては、

- 高齢者の割合が高い
- 深夜（午前0時から午前4時）が増加
- 名古屋市で増加
- 歩行者死者が減少

である。

平成31年の主な取組は、

- 歩行者保護を始めとした交通安全意識の更なる定着
- 交通事故に直結する違反の取締りの強化
- 高齢者、子供等の交通弱者に配慮した道路交通環境の整備

である」

旨の報告があった。

委員から、

「ワースト1位返上はかなわなかったが、前年より大きく減少させたことは各種対策による努力の成果であり、大変評価できる」

「自転車利用者の事故や高齢者による事故は引き続き大きな課題であるので、更なる対策を工夫されたい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（8件）

公安委員会執務官から、

1月4日までに届いた公安委員会宛の文書等8件について報告があり、公安委員会は「事故捜査に関する申出」及び「警察官の対応に関する申出」の2件を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 愛知県監査委員事務局による随時監査の受監結果

監査官から、

11月2日（金）に受監した愛知県監査委員事務局による随時監査の結果について報告があった。

(3) 執筆料報道に関する説明

警務課長から、

執筆料報道に関する説明があった。

(4) 審査請求に対する国家公安委員会の裁決

住民サービス課長から、
犯罪被害人等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会の
裁決
について報告があった。

(5) 苦情の調査結果（2件）

住民サービス課長等から、
公安委員会宛の「駐車違反取締り要望に関する苦情」及び「駐車違反手
続きに関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文
案の提示と説明
があり、いずれも原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(7) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 54件
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年 1月17日 9時25分～12時55分

出席委員：佐伯委員長・柘植委員・岩瀬委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成31年度春季組織改正等	警務部	本 部 長 総 務 部 長
2	平成30年中における110番通報受理状況及び緊急配備等結果	地域部	警 務 部 長 生活安全部長
3	報告 主要事件の検挙	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年12月中及び平成30年中）	警備部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	ナゴヤドームと連携した愛知県警察総合警備訓練の実施		名古屋警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	決定 自己情報開示請求に係る決定		
3	決裁 苦情の調査結果（2件）	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
4	報告 行政訴訟の終了（2件）		訟 務 官
5	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
6	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（3件）		
7	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
8	報告 警察職員等の援助派遣	地域部	地域総務課長
9	報告 交通事故発生状況と今後の対策	交通部	交 通 部 長
10	決定 聴聞等の実施結果・決定 57件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

平成31年度春季組織改正等

警務部長から、
平成31年度春季の組織改正等
について報告があった。

委員から、
「新たな体制で、基本目標の達成に向け全力を尽くしていただきたい」
旨の発言があった。

(2) 地域部

平成30年中における110番通報受理状況及び緊急配備等結果

地域部長から、
「平成30年中の110番受理件数は前年より21,296件減少の630,497件で、
一日平均は1,727件の受理であった。緊急配備等の配備件数は1,156件で、
うち339件が検挙につながった」
旨の報告があった。

(3) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

- コンビニ強盗未遂事件の検挙概要
- 組織的な運転免許証不正取得事件の検挙概要
- 地下銀行事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、強盗未遂事件の検挙について、
「素早い手配と分析で、早期に解決できて良かった」
旨の発言があった。

(4) 警備部

ア 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成30年12月中及び平成30年中）

警備部長から、平成30年12月中及び平成30年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「平成30年12月中、7件の許可申請を受理して、全て許可した。

また、平成30年1年間では、166件の許可申請があり、全て許可した。

なお、前年対比では6件減少した」

旨の報告があった。

イ ナゴヤドームと連携した愛知県警察総合警備訓練の実施

警備部長から、

「第70回全国植樹祭、ラグビーワールドカップ2019及びG20愛知・名古屋外務大臣会合の開催に向けて各部隊の対処能力向上及び関係機関との連携強化を図るため、1月25日（金）午後2時30分から、ナゴヤドームにおいて愛知県警察総合警備訓練を実施する。また、本訓練を報道公開し、警察の取組を広く県民に周知する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

1月11日までに届いた公安委員会宛の文書等2件
について報告があり、決裁した。

(2) 自己情報開示請求に係る決定

公安委員会執務官から、
公安委員会宛の自己情報開示請求に係る決定案
について説明があり、原案どおり決定した。

(3) 苦情の調査結果（2件）

住民サービス課長等から、
公安委員会宛の「交通取締りに関する苦情」及び「相談対応時の言動に
関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提
示と説明
があり、1件については一部修正の上、1件については原案どおり決裁した。

(4) 行政訴訟の終了（2件）

訟務官から、
行政文書不開示処分取消請求事件及び運転免許取消処分取消請求事件の
終了
について報告があった。

(5) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
運転免許取消処分取消請求事件の概要及び今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(6) 運転者区分決定に対する審査請求（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求3件について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(7) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に
基づく警告等の実施について、
「平成30年12月中は、押し掛け等を理由に、禁止命令等を5件実施した。
また、つきまとい、行動を監視していると思わせる事項の告知、粗野乱
暴な言動、連続メール、名誉を害する事項の告知等を理由に28件の警告を
実施した」
旨の報告があった。

(8) 警察職員等の援助派遣

地域総務課長から、
「神奈川県公安委員会から、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1
項に基づく援助要求があり、必要な警察職員等を派遣する」
旨の報告があった。

(9) 交通事故発生状況と今後の対策

交通部長から、
平成30年中における交通事故発生状況及び平成31年上半期における交通
事故抑止対策
について報告があった。

委員から、
「交通事故についてよく分析されている。この分析結果を存分に活かし
て、交通事故抑止につなげていただきたい」
旨の発言があった。

(10) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 53件
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年1月24日 8時55分～13時05分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	2月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長
2	平成30年警察運営の基本目標に対する取組結果等		
3	「子供の性被害防止シンポジウムあいち」の開催	生活安全部	警 務 部 長 生活安全部長
4	名古屋市との児童虐待事案の情報共有に関する協定の締結		
5	報告 主要事件の検挙	地域部	地 域 部 長 刑 事 部 長
6	薬物銃器事犯に関する総合的な水際対策に向けた連携枠組みの構築	刑事部	交 通 部 長
7	主要事件の検挙	交通部	警 備 部 長 名古屋市警察部長
8	愛知県テロ対策パートナーシップ協議会の設立	警備部	情 報 通 信 部 長
9	平成30年度名古屋港テロ対策合同訓練への参加		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	報告 警察署長会議の開催結果		
3	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
4	報告 高い規律と士気を有する組織の確立に向けた取組		警 務 部 長 警 務 課 長 首 席 監 察 官
5	報告 損害賠償請求事件判決への対応方針		訟 務 官
6	裁決 運転免許取消処分に対する審査請求		
7	報告 高齢運転者の免許更新手続の円滑化	交通部	交 通 部 長
8	決定 聴聞等の実施結果・決定 54件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 2月の行事予定

警務部長から、
2月の行事予定
について報告があった。

イ 平成30年警察運営の基本目標に対する取組結果等

関係部長から、平成30年警察運営の基本目標であった、
暴力団の壊滅
交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～
犯罪の抑止
に対する取組結果及び平成31年の取組方針について報告があった。

委員から、

「平成30年は、各部とも大きな成果を上げることができたと思う。

本年は、大規模警備等が控えており、交通死亡事故死者数及び住宅
対象侵入盗認知件数の全国ワースト返上という大きな課題もあるので、
引き続き頑張っていたきたい」

旨の発言があった。

(2) 生活安全部

ア 「子供の性被害防止シンポジウムあいち」の開催

生活安全部長から、

「少年警察ボランティアや教諭、高校生等の様々な立場の関係者が一
堂に会し、子供の性被害について自ら考え、その防止に向けた気運の醸

成を図るため、1月26日（土）午後1時30分から、ウィルあいちにおいて、『子供の性被害防止シンポジウムあいち』を開催する」旨の報告があった。

委員から、

「マスコミを活用するなどして、被害の実態等を更に広く周知させる努力をされたい」

旨の発言があった。

イ 名古屋市との児童虐待事案の情報共有に関する協定の締結

生活安全部長から、

「名古屋市の児童相談所と警察が児童虐待に関する情報を共有し、児童虐待の未然防止と早期発見及び早期対応を図るため、『児童相談所と警察の児童虐待に係る事案の情報共有に関する協定』を締結する」

旨の報告があった。

委員から、

「うまく機能させて確実に未然防止につなげていただきたい」

旨の発言があった。

(3) 地域部

主要事件の検挙

地域部長から、

- 連続自動車盗事件の検挙概要
- 列車内における連続器物損壊事件の検挙概要

について報告があった。

(4) 刑事部

薬物銃器事犯に関する総合的な水際対策に向けた連携枠組みの構築

刑事部長から、

「当県における薬物銃器情勢は予断を許さない状況にあることから、当県警、名古屋税関、第四管区海上保安本部の三機関が薬物銃器事犯に関する総合的な水際対策に向けた連携枠組みを構築することを目的に、覚書の調印を行う」

旨の報告があった。

(5) 交通部

主要事件の検挙

交通部長から、

道路運送法違反被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、

「難しい捜査だったと思うが、よく検挙していただいた」
旨の発言があった。

(6) 警備部

ア 愛知県テロ対策パートナーシップ協議会の設立

警備部長から、

「厳しい国際テロ情勢を踏まえ、実効性のあるテロ対策を推進するため、幅広い分野の対策に係る関係機関、事業者、団体等が、テロ対策のために横断的に参加する枠組みを構築することを趣旨として設立する『愛知県テロ対策パートナーシップ協議会』の設立総会を2月7日（木）、警察本部において開催する。協議会では、情勢に応じて会議を開催するほか、国際テロ情勢やテロ対策の取組等の情報共有を図る」

旨の報告があった。

イ 平成30年度名古屋港テロ対策合同訓練への参加

警備部長から、

「港湾でのテロ対策合同訓練を実施することにより、事案発生時における関係機関相互の対応状況を確認するとともに、関係機関の連携を一層強化して事案対応能力の向上を図るため、1月29日（火）、名古屋港において実施される平成30年度名古屋港テロ対策合同訓練に、愛知県警察も参加する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

1月18日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、決裁した。

(2) 警察署長会議の開催結果

公安委員会執務官から、警察署長会議の開催結果について、

「1月22日（火）、警察本部において、警察署長会議が開催され、愛知県知事、名古屋地方検察庁次席検事、愛知県公安委員会委員長の挨拶に続き、本部長から、最重要課題である

暴力団の壊滅

交通死亡事故の抑止

犯罪の抑止

○ 大規模警備の完遂

等についての訓示があり、その後、各部長等から推進事項に関する指示が行われた」

旨の報告があった。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(4) 高い規律と士気を有する組織の確立に向けた取組

警務部長、警務課長及び首席監察官から、
高い規律と士気を有する組織の確立に向けた取組
について報告があった。

委員から、
「警察官の非違事案は社会に与える影響が一般よりも大きい。より高い
モラルが求められるので、引き続き非違事案防止に努めてもらいたい」
「警察官採用については、欠員をなくすことが質の低下にならないよう
配意していただきたい」
旨の発言があった。

(5) 損害賠償請求事件判決への対応方針

訟務官から、
損害賠償請求事件判決への対応方針
について報告があった。

(6) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、原案どおり裁決した。

(7) 高齢運転者の免許更新手続の円滑化

交通部長から、
高齢運転者の免許更新手続の現状とその円滑化に向けた今後の対策
について報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 52件
風俗営業等の営業停止処分に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成31年 1月31日 9時00分～12時50分

出席委員：佐伯委員長・後藤委員・柘植委員・岩瀬委員・那須委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成30年中における人身安全対処事案の取扱状況	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部 長
2	主要事件の検挙		
3	報告 主要事件の検挙	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	交通事故捜査員の能力向上に向けた取組	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	主要事件の検挙	警備部	名古屋警察部 長 情報通信部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3	報告 被疑者取調べ監督の実施状況（平成30年中）		
4	報告 平成30年度警察庁会計監査の結果報告		総 務 課 長 監 査 官
5	報告 遺族給付金支給裁定の再裁定	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
6	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定		
7	決裁 苦情の調査結果（3件）		
8	報告 平成30年度秋の業務監察実施結果		
9	報告 監察案件		首 席 監 察 官
10	報告 審査請求事案への対応について		訟 務 官
11	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（3件）		
12	報告 街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況	生活安全部	生活安全総務課長
13	報告 交通事故統計外の事故（平成30年第4四半期）	交通部	交 通 総 務 課 長 運 転 免 許 課 長
14	決裁 優良指定自動車教習所表彰の実施		
15	決定 聴聞等の実施結果・決定 43件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 生活安全部

ア 平成30年中における人身安全対処事案の取扱状況

生活安全部長から、
平成30年中における人身安全対処事案の取扱状況
について報告があった。

委員から、
「人身安全対処事案への対応に間違いがあってはならないが、対応する職員に過度な負担がかからないように配慮もされたい」
旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

生活安全部長から、
水質汚濁防止法違反事件の検挙概要
について報告があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
○ 一般住宅を対象にした連続忍込み事件被疑者の検挙概要
○ オートバイ使用のひったくり事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「よく検挙していただいた。引き続き同種犯罪の検挙に期待する」

旨の発言があった。

(3) 交通部

交通事故捜査員の能力向上に向けた取組

交通部長から、

「近年の交通事故事件は、客観的証拠や科学捜査を始めとする緻密な捜査が求められることから、捜査幹部を含む全ての交通事故捜査員の捜査能力及び技能の向上を目的とした取組を推進し、職務執行能力を向上させるとともに、高い規律と士気を有する組織を確立する」

旨の報告があった。

委員から、

「現場に負担がかからぬよう、実のある教養にしていきたい」旨の発言があった。

(4) 警備部

主要事件の検挙

警備部長から、

政治団体代表による詐欺事件の検挙概要について報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

1月28日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、決裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について説明があり、警察署協議会委員 1 人の辞職及び後任者 1 人の委嘱に
ついて決裁した。

(3) 被疑者取調べ監督の実施状況（平成30年中）

総務課長から、
平成30年中における被疑者取調べ監督の実施状況
について報告があった。

(4) 平成30年度警察庁会計監査の結果報告

監査官から、
平成30年10月3日（月）から10月5日（水）までの3日間に全所属を対
象に実施された平成30年度警察庁会計監査の結果
について報告があった。

(5) 遺族給付金支給裁定の再裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定の再裁定
について説明があった。

(6) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1 件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(7) 苦情の調査結果（3件）

住民サービス課長等から、

公安委員会宛の「被害届の受理に関する苦情」、「交通取締り時の対応に関する苦情」及び「道路標識に関する苦情」の3件について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明があり、1件は原案どおり、2件は一部修正の上、決裁した。

(8) 平成30年度秋の業務監察実施結果

首席監察官から、

平成30年度における秋の業務監察の実施結果について報告があった。

(9) 監察案件

首席監察官から、

監察案件について報告があった。

(10) 審査請求事案への対応について

訟務官から、

審査請求の事案概要及び今後の対応方針について報告があった。

(11) 運転者区分決定に対する審査請求（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求3件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明

があり、いずれも原案どおり裁決した。

(12) 街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況

生活安全総務課長から、
平成30年1月1日から平成30年12月31日までの街頭防犯カメラシステムの録画データの活用状況及び主な活用事例
について報告があった。

(13) 交通事故統計外の事故（平成30年第4四半期）

交通総務課長から、
平成30年第4四半期における交通事故統計外の事故
について報告があった。

(14) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、
「優良指定自動車教習所表彰規程に基づき、業務が極めて優秀であった指定自動車教習所を公安委員会が表彰することにより、教習所の水準の向上と士気の高揚を図り、交通事故の抑止に資するため、優良指定自動車教習所表彰を行う」
旨の報告があり、決裁した。

(15) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 43件
について報告があり、行政処分を決定した。